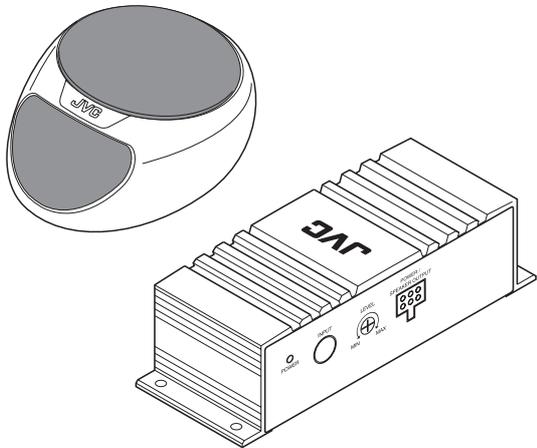


センタースピーカーシステム 型名 **CS-PCN100**



— お買い上げありがとうございます —

⚠️ 使用前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なお読みください。

LVT1601-001A

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社(以下、当社)にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
 - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などで困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 JVCカーAV お客様ご相談センター
別紙の「JVCカーAV製品サービス窓口案内」をご覧ください。	☎ 0120-977-846 (フリーコール) FAX (027)254-8927 受付時間 10:00~18:00 (土、日、祝日、当社休日を除く) 〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターホームページ
カーAVホームページ

<http://www.victor.co.jp/>
<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>



日本ビクター株式会社

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

持込修理

お名前	ふりがな			様	
	000-0000 電話 () -				
お客様住所	ご住所				
お買い上げ年月日			保証期間	お買い上げ日から	
年	月	日		本体 1年間	
お住所・店名・お買い上げ電話					

この保証書は、本書記載内容で、無料修理を行なうことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取り扱いについての説明書及び本体張付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無料修理をさせていただきます。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、又は別紙「JVCカーAV製品サービス窓口案内」をご覧くださいのうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
3. 次のような場合は、保証期間内でも有償修理にさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合、及び本書に記載の字句(製造番号など)を書き換えられた場合。
 - (3) ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。また、液体流入や異物混入による故障及び損傷。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移送、落下、取付場所の移動などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫黄ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
 - (6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - (7) 車載用以外(例えば業務用等への長時間使用、船舶(船舶用製品を除く)への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (8) オーバーホール

なお、持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様の負担とさせていただきます。また、出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担とさせていただきます。なお、修理期間中の使用できなかったために発生した損失や、不便さに対する補償は致しません。

4. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって日本ビクター(株)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直にお買い上げの販売店にお申し出ください。
2. ご贈答品等で、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、別紙「JVCカーAV製品サービス窓口案内」をご覧くださいのうえ、最寄りのサービス窓口にお申し出、ご相談ください。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
5. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。

安全上のご注意 – はじめにお読みください –

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

警告

• この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意

行為を禁止する記号



禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

注意

• この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。

- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの^{マイナス}端子のコードを外す。

- ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。

- リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない。

- 交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意で行う。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を施す。

- 交通事故や火災の原因となります。

車体のボルトやナットを使用して本機を取り付ける場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しない。

- これらを使用しますと制動不能や発火の原因となります。

車体のボルトやナットを使用してアース線を接続するときは、ステアリングやブレーキ系統等の保安部品のビスは絶対に使用しない。

- 事故の原因となります。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。

- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。

- 事故・火災・感電・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。

- このような操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。

音が出ないなどの故障や異常のまま使用しない。

- 万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。

- 規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

注意

本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。

- 安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。

- 指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。

- 本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火の原因となることがあります。

水ぬれ禁止

振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避ける。

- 外れて事故やけがの原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。

- 車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

本機の通風孔や放熱板をふさがない。

- 通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

安全上のご注意

⚠️ 注意

本機を不安定なところに取り付けない。

- 正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

- 接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正常に動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意する。

- 断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。

- 感電やけがの原因となることがあります。

主な仕様

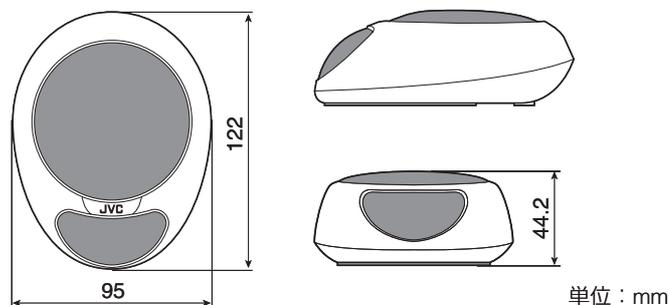
スピーカー (CS-CN100)

- 形式：密閉式2ウェイスピーカーシステム
- スピーカー
ウーハー：6.4cm(オブリコーン)
ツイーター：2cm(ソフトドーム)
- インピーダンス：4Ω
- 瞬間最大入力：60W
- 定格入力：20W
- 出力音圧レベル：80dB/W・m
- 再生周波数特性：140Hz～30kHz
- 最大外形寸法：幅95mm×高さ44.2mm×奥行き122mm
- 質量：0.25kg

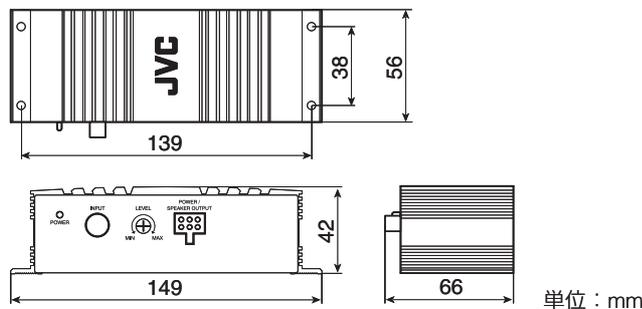
アンプ(KS-AX1001)

- 形式：センターチャンネルスピーカー用1chアンプ
- 最大出力：32W
- 定格出力：23W(4Ω、10%THD)
- 周波数特性：100Hz～20kHz(+0dB、-3dB)
- S/N比：96dB
- 入力感度：0.2V～4V
- 入力インピーダンス：15kΩ
- 入力端子：RCAコネクタ×1
- 接続端子：POWER/ SPEAKER OUTPUT
- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 最大外形寸法：幅149mm×高さ42mm×奥行き66mm
- 質量：0.36kg

寸法図



寸法図

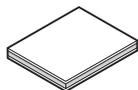


付属品

スピーカー



スピーカー延長コード(長さ2m)×1



スペーサー×1

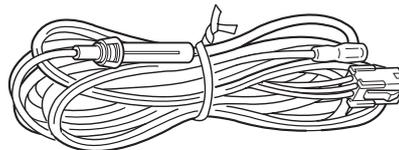


皿ネジ(φ3mm×10mm)×4
タッピングネジ(φ4mm×10mm)×2



取付金具×2

アンプ



電源/スピーカーコード×1
(電源コードの長さ3m、
スピーカーコードの長さ0.5m)



ヒューズ(予備)×1



タッピングネジ
(φ4mm×16mm)×4



RCAコード(長さ5m)×1



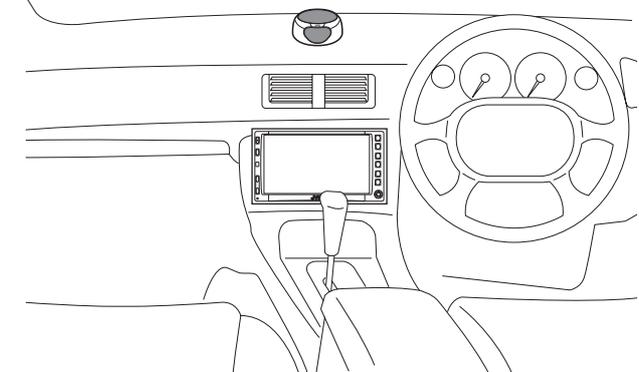
スピーカー延長コード
(長さ2m)×1

取付方法

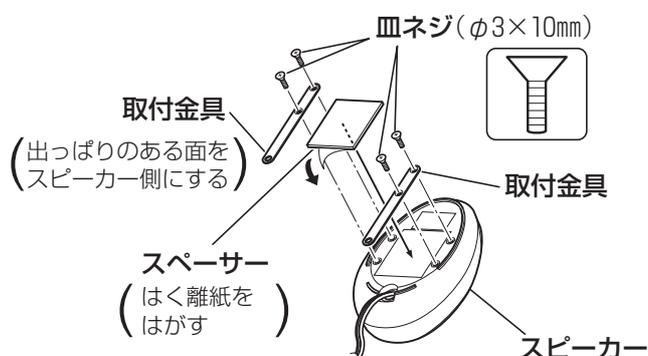
スピーカー (CS-CN100)

スピーカーの取り付け位置は、運転の際に視界の妨げにならない場所で、できるだけダッシュボードの中央付近を選びます。

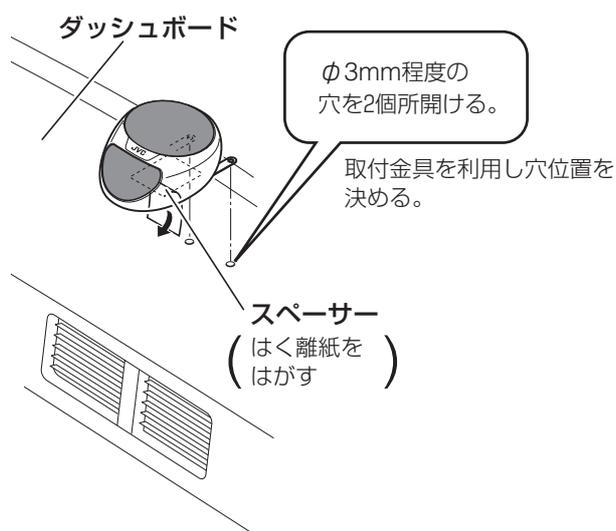
取付例



1

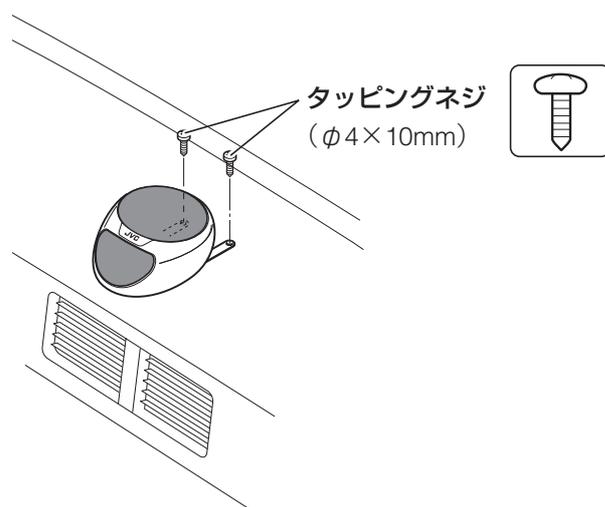


2



- 穴を開けるとき、ドリルの先端で内部の配線などを傷つけないように注意してください。

3



ご注意

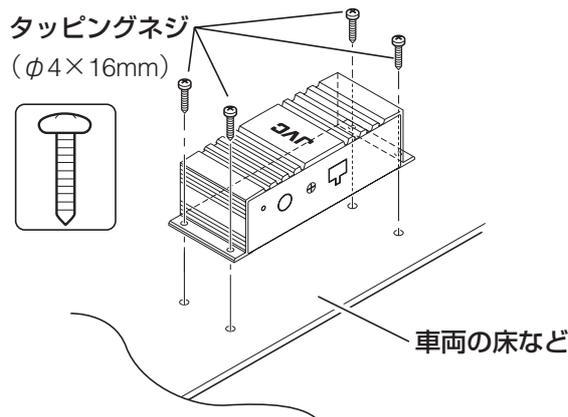
- スピーカーを取り付ける場所の湿気やホコリ、汚れなどを事前にふき取ってください。
- スピーカーをダッシュボードに取り付けるときは、取付用のネジがダッシュボード内の車両の配線に触れないよう、十分な距離があることをお確かめください。
- スピーカーを可動部(サンバイザーやエアバッグなど)に取り付けると、事故やケガの原因となることがあります。
- スピーカーを車両に固定しているネジにゆるみがないか、ときどき点検してください。ネジがゆるんだまま走行すると、スピーカーが外れて事故やケガの原因となることがあります。
- スピーカーは、防磁設計ではありません。磁気カードなどを本機のそばに置かないでください。データが消えるなどの原因となります。

アンプ(KS-AX1001)

座席の下やトランク・ルームなどに取り付けます。

ご注意

- パイプ・配線類を傷つけないように注意して取り付けてください。
- マットの下など、放熱の妨げになる場所には取り付けしないでください。



接続方法

1 バッテリーの端子をはずす

コンピューターが装着されている車は、バッテリーの端子をはずすと、メモリーが消えてしまうことがあります。一部の車種(外国車など)では、バッテリーの端子をはずすと、電装系に不具合が生じる場合があります。くわしくは、ディーラーへお問い合わせください。

2 接続する

下記の「接続図」を参照してください。それぞれのコードについているラベルを確認しながら、正しく接続してください。

3 バッテリーの端子を接続する

ブレーキランプ、ホーンやウインカーなどの電装品が正しく動作することを確認してください。

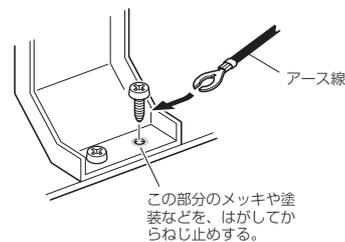
ご注意

• アース線の接続について

本機は、大音量時には大きな電流を必要とします。アース線を接続する車体の金属部のメッキ、塗装等を、はがしてからねじ止めしてください。

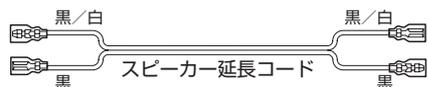
電流が流れにくいと音質の悪化、または電源が入らない、音が途切れるなどの原因となります。このようなときは、アース線の状態を再確認してください。それでも直らないときは、アース線の接続する場所を変えてください。アース接続には、ブレーキ類のボルトやナットを使わないでください。

- 「リモート入力」は、必ずカーステレオの「リモート出力」または車両のACCライン(電源)に接続してください。
- 電源コードについているヒューズは絶対に切り取らないでください。
- 本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

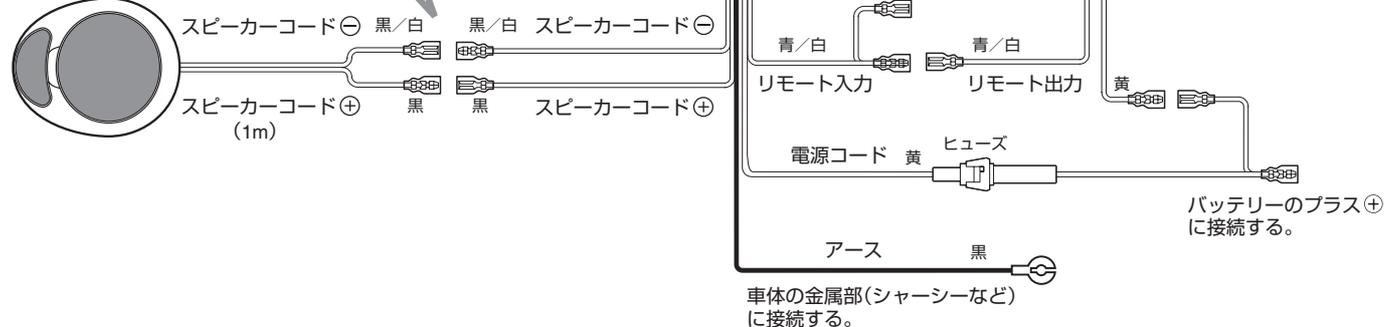


接続図

スピーカーコードの長さがたりない場合は、付属のスピーカー延長コードをご使用ください。合計2本付属されていますので、必要に応じてつないでお使いください。



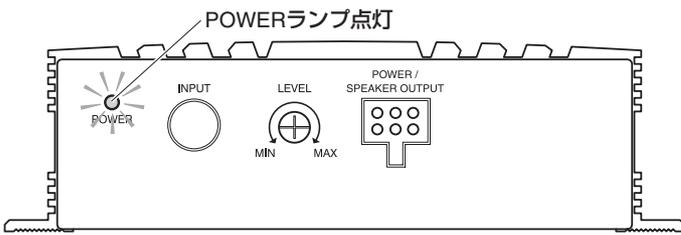
スピーカー
CS-CN100



レベルの調節方法

1 カーステレオの電源を入れる

カーステレオに連動し、アンプの電源も入ります。



2 カーステレオ側でセンタースピーカーの出力レベルを調節する

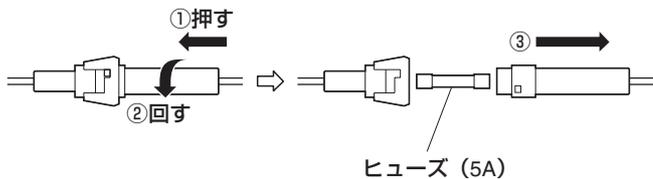
- くわしくはカーステレオの取扱説明書をお読みください。
- カーステレオ側で出力レベルの調節ができない場合は、アンプの入力レベルを調節してください。



音がひずまない範囲で調節してください。

ヒューズの交換方法

本機のヒューズは**5A**です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げ販売店にご相談ください。



お手入れ

表面が汚れたときには、柔らかい布でから拭きをしてください。アルコール、シンナー、ガソリンなどの揮発性のものやカーワックスが付着すると、塗装がはげたり変化する原因となります。

故障かな？と思ったら

電源が入らない。	➔ リモート入力や、電源を正しく接続する。 ➔ アース線を車両の金属部分に正しく接続する。
スピーカーから音が出ない。	➔ RCAコードまたはスピーカーコードを正しく接続する。
音が小さい。	➔ カーステレオのセンタースピーカー出力レベルまたは、アンプの入力レベルを調節する。

カーステレオを楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。とくに静かな夜間の場合、小さな音でも通りやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。車の周囲に十分配慮して適度な音量に心がけ、快い生活環境を守りましょう。

使用上のご注意

- このスピーカーは、車両のダッシュボードに取り付ける5.1chサラウンド再生用センタースピーカーです。そのため、クロスオーバー周波数を必ず150Hz以上に設定してお使いください。フルレンジで使用すると、低音域の無理な駆動により、音割れやスピーカーの破損の原因となることがあります。
- スピーカーの近くで携帯電話や無線機を使用すると、雑音や誤動作の原因となることがあります。